

12月7日(月)全校朝会

まず初めに、元気よく朝の挨拶をしましょう。おはようございます。今週もビデオカメラの調子が悪いので、放送による全校朝会となりました。

さて、先月の11月は「ふれあい月間」でした。取組の一つとして、「いじめについてのアンケート」を全学年で行いました。結果を見ますと、嫌なことやひどいことを言われたという暴言や、ぶたれた、たたかれたという暴力といったいじめが、北ノ台小でも少なからずあるようです。残念なことです。そこで、今日は「暴言・暴力は許さない」という話をします。

「暴言」は、人の心を傷つける言葉です。「暴力」は、人の心を傷つける行動です。どちらも決して許されないことです。そして、「暴言」や「暴力」は、皆さん子供たちだけではなく、先生方にも決して許されないことです。

先生方は、いつも皆さんを「愛」の心で立派な人になるよう色々なことを教えてくれています。でも、時々、皆さんを大きな声で注意したり、怖い顔をして叱ったりすることがあります。皆さんを立派に育てるためには、注意をしたり叱ったりすることは必要なことです。先生は怖い顔をしていますが「愛」の心でしているのだと思います。でも、もし、先生の言葉や行動で皆さんの心が傷ついているとしたら、それは「暴言」「暴力」となります。

そこで皆さんに協力して欲しいことがあります。それは先生の言葉や行動が皆さんの心を傷つけていないかを教えてほしいのです。そして、もし傷ついている人がいたときにはお話を聞かせてください。そのためのアンケートを今週します。詳しくは、担任の先生からお話がありますのでよく聞いてください。

今月、12月は一年を締めくくる大切な月です。みんなで力を合わせて、北ノ台小学校を暴言や暴力のない笑顔あふれるごきげんな学校で新年が迎えられるようにしましょう。



今日は、「暴言・暴力」は決して許されないという話をしました。お話を終わります。